

◎第6学年授業改善プラン

☆印については、ご家庭でも取り組んでいただけると嬉しいです。

	現状分析（児童の実態） ○成果 ●課題	・学校での取り組み（授業改善プラン） ☆家庭学習ポイント（保護者の方々へ）	チェック
国語	○区の学力調査によると、「漢字の読み」と「作文」の問題では正答率が80%を越えている。 ●「説明文の内容を読み取る」問題や「話し合いをもとに活動報告を書き直す」問題では、正答率が70%を下回っている。	・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえられるように、文章に書かれている話題、理由や根拠となっている内容、構成の仕方などに注意して読ませるようにする。 ・表やグラフ、パンフレットなども教材として取り扱い、複数の資料を比較して考えたことをノートに書く活動を取り入れる。 ☆様々な考え方に触れられるよう、新聞を読んだり、本を読んだりする機会を増やしてください。	
社会	○区の学力調査によると、「わたしたちの生活と環境」の問題では正答率が80%ほどあった。 ●「世界の中の国土」「日本の国土と人々の暮らし」「工業生産と工業地域」の問題では、正答率が50%を下回っている。	・地図帳や地球儀、資料などを活用して調べ、理解させる活動を多く取り入れる。 ・社会的事象についての基本的な語句の理解ができるよう復習プリントを作成し、朝学習の時間に取り組む。 ☆国や県名などが新聞やニュースなどで出てきた際、地図帳などを開き一緒に調べてみてください。	
算数	○区の学力調査によると、「計算の復習」の問題では正答率が90%を越えている。 ○「分数の計算」や「合同・立体」の問題では正答率が80%を越えている。 ●「単位量あたりの大きさ」や「百分率とグラフ」の問題では正答率が50%を下回っている。	・日常生活の事象の解決に、単位量あたりの大きさや割合の考えを活用して、合理的に判断する活動を充実させる。 ・問題の状況を丁寧に読み解き、その関係を図や数直線などに表して捉えさせるようにする。 ☆何割引きや何%など日常生活で出てきた数字の計算をさせたり、LをmLやdL、mをkmに変えたりする活動をクイズにして楽しんでみてください。	
理科	○区の学力調査によると、「天気の変化」「魚の誕生」「人の誕生」の問題では正答率が80%を越えている。 ●「流れる水のはたらき」「ふりこのきまり」「電流のはたらき」では正答率が60%を下回っている。	・理科と日常とのつながりを考え、その有用性を感じられるよう、実験結果や調べて分かったことを身近なことに置き換えて考えさせるようにする。 ・科学的用語を用いて話し合ったり、説明したりする活動を積極的に取り入れる。 ☆理科で学習した言葉や実験の仕方などの定着のために、学習している内容について、ご家庭で話題にしてみてください。	
音楽	○めあてをもち進んで学習に取り組むことができる。音楽的な根拠に基づきながら表現活動に取り組む姿が多く見られる。 ○互いの表現のよさや、自分との考えの違いに気付き、良好なかかわり合いの中で、豊かな感性で学習に取り組むことができる。 ●器楽学習では、技能面でのつまずきを感じている児童たちが見られ、適切な練習方法で、継続的に取り組むことが難しい。	・音楽をよく聴き、感じ取ったことを体の動きで表すなど、多様な音楽活動を通して、豊かな感性を養うようにする。 ・発声や音程に気をつけて歌い、リコーダーのアンサンブルや器楽合奏を通して、ひびき合いのよさを味わいながら、音を重ね合わせる経験を広げるようにする。楽器の基礎的な積み重ね学習においては、必要に応じて補充学習も行い指導する。 ・ペア学習、グループ学習など、友だちとのかかわり合いの中で違いやよさを認め合うことにより、学習を深められるようにする。 ☆楽器を持ち帰った時は、学習している曲を聴き、息遣いや運指、音色の美しさなど、よい所を認めてあげましょう。また、思うように演奏できない場合は、助言をお願いします。保護者の方と一緒に、繰り返し練習する時間をつくりましょう。	
図工	○作品作りに丁寧さ、意欲がある。 ●予定時間から時間配分を考えて進める、当初の計画通りに手順を追って作るなど、より計画的に進める力をつけさせたい。	・計画段階を時間を確保してじっくり考えさせることで、見通しをもたせる。 ☆表したいことをしっかり表現することができたか、作品について話を聞いてみてください。また、身近な美術作品を見た時や身の回りのものに触れた時に感じた美しいと思う気持ちや感動を、言葉にして話し合ってください。	
家庭	○食への関心は高く、調理実習は意欲的に取り組んでいる。 ●衣に関しては、実践の機会が少ないため、個人差が非常に大きい。	・家族の一員として生活をよりよくしようとする実践力を身につけさせるために、実習の時間を増やしていく。 ☆学習した内容を実践できるよう、機会をあたえてあげてください。	
体育	○「上体起こし」「長座体前屈」「立ち幅跳び」では全国平均を上回っている。 ●「反復横とび」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」では全国平均を下回っている。	・ジグザグ走・号令による前後左右のステップや足の踏み変えなどの運動を短時間で集中的に行う。 ・相手をおんぶして20～30mを走る運動などを取り入れる。 ☆放課後の外遊びを促したり、休日などを使ってご家族で運動したりする機会をつくってください。	